学校に行けない悩みを解決！プロフェッショナル心理カウンセラーが対応します

つばさ

38号　2020年
発行：NPO 法人 翼学園

翼学園：学校へ行けない子どもを支援し復帰実現へ導きます
カウンセリングルーム：うつや引きこもり、悩みの相談室
つばさの会：子育て中の親の悩みの相談会・定期的な子育て学習会

コロナ禍で ～翼学園の取り組み～

子ども達一人ひとりへ毎日の電話やメールを

翼学園は愛媛大学の坪井敬文博士の御教示を受け、やむを得ない選択ながら、４月13日から５月末まで教室での対面授業とカウンセリングを休止していました。

子ども達は、長い長い苦しみの末、やっと家から出て、翼学園へ通えるようになったのですが、コロナで再び家の中だけの生活になってしまいました。指導者達は、そんな41人の子ども達一人ひとりへ、毎日電話やメールを続けました。放っておけない閉じこもりそうな心のケアと毎日の電話学習指導のために。

学習指導は、毎日約1時間から２時間、電話やウェブ会議システムを使っての算数・数学・英語のマンツーマン指導。その電話を毎日心待ちにしてコツコツと頑張り続けた子ども達でした。

スタッフ全員で力と心を合わせて、翼学園の子ども達を全力で守りきる。

誰一人、再び孤独で淋しい部屋に戻らせないように！

電話の向こうに嬉しそうに受け応えてくれる声が。電話を待ってくれているから、私達の胸も弾みます。

電話やメールだけの対話や指導でも、子ども達は、刻一刻と成長していくのがつぶさに伝わってきます。

図らずも喜ばしい結果に

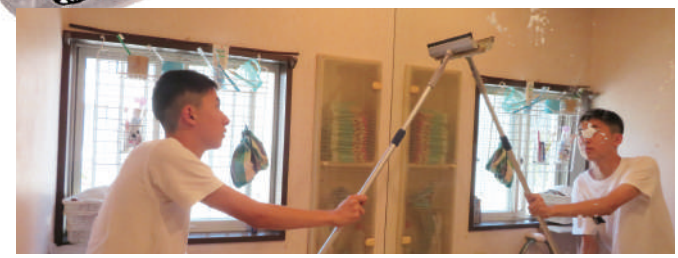
１か月半、毎日電話で話したり、勉強した努力が実り、毎日の通学人数がぐんと増えました。今、教室は嬉しい再会をした子ども達の笑顔であふれています。誰もコロナに負けない！みんな元気で明るく活動中です！

トーチ練習を通して
友達が仲間になっていく！

夏の恒例行事になっているトーチトワリングは、棒の先に固定したタオルに燃料をしみこませ、それを燃やしながら振り回すファイヤーパフォーマンスです。

発表に向けての準備は、トーチ棒の作製から始まります。工具を使っての作業は慣れない子ばかりなので、経験者の学園生がノコギリや金づちの使い方を優しく教えてくれます。マイトーチ棒が完成したら、回し方の練習開始です。今年はほとんどが初心者なので、特にゆっくりペースで基本の回し方から始めました。友達と一緒に楽しく回しているうちに、初めはぎこちなかった手つきが次第に滑らかな動きに変わり、自由自在にトーチを回せるようになり満面の笑顔です。

自分にできる小さな家事「家事分担」



まずは一品、卵焼きからのスタート！

翼学園では、自分にできる小さな家事を毎日、家族の一員として受け持つ「家事分担」を奨励し、自分以外の誰かのために行動することを喜びに感じられる心を育てています。

そのため、学園生活でも毎日掃除の時間を設けて、自分たちが使う教室や廊下、トイレ等を協力し合ってきれいにしています。掃除だけでなく、自分が食べたお弁当箱を自分で洗ったり、お茶を淹れる時に友達のコップが空いていたら「一緒に淹れようか？」と声をかけあったりして、自分のことを自分でする練習を重ねながら、友達や先生と助け合う社会生活を送ります。

家庭でも料理その他の家事を少しずつ教わり、責任を持って分担できることに喜びが持てると、いつしか毎日のお弁当を自分で作れるようになったり、休みの日には家族の夕食作りを引き受ける学園生も少なくありません。家族や仲間を思って働ける毎日を積み重ねると、生活の中から心身の自立が促され、自分への揺るぎない自信につながります。

コロナ休講明けの6月からメンバーが一気に増え、毎日通学の学園生はなんと20名超。小グループに分かれての練習では、トーチ技の習得だけでなく、一人でも疲れた友達がいればグループ全体で休憩を取ります。新入生が技を一つクリアーするたびに皆で喜び合って、仲間を思いあう関係が生まれています。

第66回翼スペシャルLesson 2020年7月1日(水)

オリジナル紙バッグをデザインしよう！

自由な発想を生かしたアート体験ができる、アトリエIGANDA三野先生のLesson。今回はオリジナルデザインの紙バッグを作製しました。３次元の作品なので、組み立てた時の見え方を考えながらデザインするのが新鮮！アクリル絵の具で思い思いに色を付け、個性的なデザインバッグを完成させました！
三野計先生Webサイト https://ti-c.net/artist/minokei/

三 野 計　検 索

イラストが思いつかなくても大丈夫。三野先生が優しく教えてくれました。

大野理事長が聖カタリナ大学で講義

6月22日、大野理事長が聖カタリナ大学北条キャンパスにて講義を行いました。
授業科目は「教育社会学」、人間社会学科3年生と健康スポーツ学科2年生ら約80名の学生対象です。

講義の内容は、『学校に行けない子ども達に必要な理解と支援』と言うテーマで、90分の授業でした。

なかには、義務教育中などにいじめにあった体験や学校生活で過ごしにくさを感じ悩んだ体験を持つ人もいたり、将来の仕事としてカウンセラーや福祉の仕事、教師を目指している学生さんも多く、全員が熱心に講義に聞き入っていました。

子どもの気持ちがわかる親になりたい、翼学園に一度行ってみたい、長期欠席児童に対して差別や偏見を持ってはいけないと理解が深まり、講義を聞いて本当によかったという趣旨の感想も多くいただきました。

寄付サイトSyncable（シンカブル）開設しました

資金不足の翼学園を助けるために、この度、Syncableという寄付サイトを開設しました。ぜひご覧になってフォロワーになってください。また、一人でも多くの方にお知らせいただきますようよろしくお願いいたします。

学校に行けないことで悩み苦しむ子ども、実社会へ出られなくなった青年達の自死が増え続ける今、彼らの命を守り、未来をつなぐために、賛助会員さんを増やし、ご寄付を集めています。どうぞあなたのお力をお貸しください。

シンカブルとは

1 支援を必要とするNPOと支援を通じて社会貢献したい人をつなぐサイトです。
2 当サイトの開設により、単発寄付や、500円からの継続寄付、また入会および会費納入がクレジット決済でできるようになりました。
3 スマートフォンやパソコンから簡単にお手続きいただけます。
4 フォローしていただくだけでも応援になります。

↓↓アクセスは下記のURLもしくは右のQRコードから→

https://syncable.biz/associate/Tsubasa-gakuen/

NPO法人 翼学園

〒790-0047 愛媛県松山市余戸南3丁目3-39　TEL：089-971-5706　FAX：089-965-2806
E-mail：kokorono-tsubasa@mb.pikara.ne.jp　HP：http://www.tsubasa-room.jp
翼学園の最新情報はフェイスブックページをご覧ください

ホームページ　facebook